



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ライトアップ 上場取引所 東
コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨 TEL 03-5784-0700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	814	20.2	31	—	35	—	22	—
2025年3月期第1四半期	678	—	△83	—	△83	—	△75	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 23百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △79百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	4.48	4.47
2025年3月期第1四半期	△14.51	—

(注) 1. 当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,773	3,051	80.9
2025年3月期	4,185	3,120	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,051百万円 2025年3月期 3,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	12.4	751	4.3	738	1.8	513	5.9	99.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,806,000株	2025年3月期	5,806,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	683,151株	2025年3月期	683,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,122,849株	2025年3月期1Q	5,180,849株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に緩やかな回復基調が続いた一方、円安を背景とする原材料・エネルギーコストの高止まりや、米国の通商政策などの動向等による影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は814,774千円（前年同四半期比20.2%増）、営業利益は31,816千円（前年同四半期は営業損失83,930千円）、経常利益は35,972千円（前年同四半期は経常損失83,210千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,930千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失75,159千円）となりました。

なお、当社グループは、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、「Jコンサル」に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供開始時期が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請締切が集中すること等に起因いたします。また、コンテンツ制作においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

AIソリューション事業におきましては、IT・人材・マーケティング・助成金等の4つの視点から業務のDX化による経営課題の解決とDX化を推進するための資金確保（補助金・助成金活用等）に関する経営コンサルティングサービスである「Jコンサル」及び補助金・助成金自動診断システムである「Jシステム」、パートナー企業と共同で実施するIT・人材・マーケティング関連商材の共同開発、共同仕入れ及びそれら企業への営業支援を行っている「JDネット」の3つのサービスを軸としながら、各サービスにおいてAI・ITを活用した中小企業支援に注力してまいりました。当第1四半期連結累計期間は、AI活用領域における新たなAIソリューションサービス（AI活用研修、コンサルティング、BPO、開発）の受注は非常に好調に推移し、特にAI活用研修が大きく業績に貢献いたしました。

この結果、同セグメントの売上高は752,906千円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益は112,076千円（前年同四半期はセグメント損失12,850千円）となりました。

その他におきましては、業種や規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作の受託サービスを展開しているコンテンツ事業において、市場環境の変化に合わせてサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間は、受注が堅調に推移するとともに経費削減に努めたこと等により、前年同四半期と比べて増収増益となりました。

この結果、同セグメントの売上高は61,867千円（前年同四半期比10.5%増）、セグメント利益は757千円（前年同四半期はセグメント損失2,039千円）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては、当第1四半期連結会計期間から記載を変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,327,463千円となり、前連結会計年度末に比べ412,910千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が420,351千円減少したことによるものであります。固定資産は446,036千円となり、前連結会計年度末に比べ486千円増加いたしました。これは主に無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア仮勘定が10,708千円、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が4,369千円増加した一方で、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が12,799千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,773,500千円となり、前連結会計年度末に比べ412,424千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は717,935千円となり、前連結会計年度末に比べ343,779千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が219,703千円、その他に含まれる未払金が38,879千円、未払消費税が42,403千円減少したことによるものであります。固定負債は3,616千円となり、前連結会計年度末に比べ433千円減少いたし

ました。これはリース債務が433千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は721,551千円となり、前連結会計年度末に比べ344,213千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,051,948千円となり、前連結会計年度末に比べ68,211千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益22,930千円及び剰余金の配当92,211千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.9%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,722,706	2,705,840
受取手形及び売掛金	954,260	533,908
商品	1,369	1,086
仕掛品	3,813	1,802
貯蔵品	457	259
その他	66,625	94,254
貸倒引当金	△8,857	△9,688
流動資産合計	3,740,374	3,327,463
固定資産		
有形固定資産	9,312	8,713
無形固定資産		
のれん	83,828	81,433
その他	166,917	178,901
無形固定資産合計	250,746	260,335
投資その他の資産		
その他	329,013	322,226
貸倒引当金	△143,521	△145,238
投資その他の資産合計	185,491	176,987
固定資産合計	445,550	446,036
資産合計	4,185,925	3,773,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,277	39,434
未払法人税等	222,828	3,124
契約負債	487,184	452,524
その他	300,424	222,852
流動負債合計	1,061,714	717,935
固定負債		
リース債務	4,050	3,616
固定負債合計	4,050	3,616
負債合計	1,065,764	721,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	2,862,514	2,793,233
自己株式	△416,917	△416,917
株主資本合計	3,136,259	3,066,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,099	△15,030
その他の包括利益累計額合計	△16,099	△15,030
純資産合計	3,120,160	3,051,948
負債純資産合計	4,185,925	3,773,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	※ 678,127	※ 814,774
売上原価	142,378	155,777
売上総利益	535,748	658,997
販売費及び一般管理費	619,678	627,180
営業利益又は営業損失(△)	△83,930	31,816
営業外収益		
受取利息	0	8
補助金収入	—	3,821
その他	965	331
営業外収益合計	965	4,161
営業外費用		
和解金	236	—
その他	10	6
営業外費用合計	246	6
経常利益又は経常損失(△)	△83,210	35,972
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△83,210	35,972
法人税、住民税及び事業税	241	241
法人税等調整額	△8,292	12,799
法人税等合計	△8,051	13,041
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,159	22,930
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△75,159	22,930

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,159	22,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,411	1,069
その他の包括利益合計	△4,411	1,069
四半期包括利益	△79,571	23,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,571	23,999

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	A I ソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	435,477	56,001	491,478
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	186,648	—	186,648
顧客との契約から生じる収益	622,125	56,001	678,127
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	622,125	56,001	678,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	622,125	56,001	678,127
セグメント利益	△12,850	△2,039	△14,890

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△14,890
全社費用(注)	△69,039
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△83,930

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	A Iソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	483,248	61,867	545,115
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	269,658	—	269,658
顧客との契約から生じる収益	752,906	61,867	814,774
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	752,906	61,867	814,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	752,906	61,867	814,774
セグメント利益	112,076	757	112,833

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	112,833
全社費用(注)	△81,017
四半期連結損益計算書の営業利益	31,816

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「コンテンツ事業」について重要性が低下したため、「その他」の区分に分類して記載する方法に変更しております。

また、「DXソリューション事業」については「A Iソリューション事業」に名称変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	9,408千円	11,982千円
のれん償却額	2,395	2,395

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※売上高の季節的変動

当社グループの売上高は、AIソリューション事業において公的支援制度申請支援サービスに関して申請期限が迫る3月が最需要期となること、また、コンテンツ制作において12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向があることなどにより、下期に偏重する季節的変動要因があります。